

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		児童福祉法～		児童福祉法他	
総合計画	大項目	基本構想	01	重点政策「教育」		根拠法令・例規等	
	中項目	基本計画	01	将来を担う人材が育つまち		児童福祉法他	
	小項目	施策	04	子育て不安の解消			
事務事業名		14		障害児通所給付事業等		このシート作成に要した時間	
						2.0 時間	

Plan

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	発達障害児（発達障害児を養育している人）
目的 (何のために)	発達障害や重症心身障害など、心身に障害のある児童に対して通所給付費を支給し、その児童の福祉の増進を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	制度を周知し、支給漏れのないようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	障害児通所給付事業	障害児通所サービスを受ける児童に対して通所給付費を支給	○
	障害児通所給付事業			

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	0	10,289	11,744
	必要人員	人	0.00人	0.03人	0.03人
	事業費	千円	0	10,567	12,042
	事業費	千円	0	8,104	8,798
	国県支	千円			
	益者負				
	担金				
	入債				
	源				
	市				
	其他				
	一				
	般財				
	源				
	受				
	益者負	%	-	-	-
	担比				
	率				
	結				
	果指				
	標名				
	単				
	位				
	当				
	た				
	り				
	コ				
	ス				
	ト				

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標	結果指標量	説明	障害児通所給付の受給者	0	17	26
	対前年比	%		-	152.9%	
	活動コスト	円		10,567,000	12,042,000	
	単位当たりコスト	円	#DIV/0!	621,588	463,154	

(平成25年度事業)

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		0	0	17	100%
	実績値 (B)		0	0	17	到達目標値
	達成率 (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	100.00%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請漏れのないよう対象者を把握する。						

Check

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の 妥当性 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コ ス ト 手 段	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
有効性の評価	目 的 達 成 度 市 民 参 画 度	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある	
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	B
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	C
		<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	
		<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	C
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	C
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度 (H26年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
		説明	児童扶養手当制度の改正が頻繁で、事務が複雑となり正確な事務が求められる。今後も制度の改廃が考えられるので、国の動向を注視する必要がある。						

総合評価		総合評価
国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

Action

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
		取組目標	国の制度に則して処理する。						